

音楽芸術表現専攻（声楽研究）

ディプロマ・ポリシー

研究計画で設定された各自の目標が達成されたことが確認されることが必要である。

具体的には、

- ・声楽の実技試験を通して、入学時に比べてより高度の歌唱技術、優れた表現力が身についたことが確認できること
 - ・声楽に関連した広範な知識と教養を得たことが、試験により確認できること
 - ・音楽および芸術全般に関して広範な知識と教養を得たことが、学科目の試験を通して確認できること。さらに修士論文もしくは修士研究を修めることである。
- その上で、学位審査に通ることが必要である。

カリキュラム・ポリシー

声楽の分野において専門性の高い研究を行うために、研究計画書を作成して目標を定め、それに基づいて研究を進める。

最も重要なのは、伊、独、仏、西、日の各言語による歌曲の個人レッスンを受けることによって、様々な様式の声楽曲に対応できる歌唱技術を身につけることである。さらに、声楽と声楽作品について広範な知識や表現方法を修得する。

また、音楽全般、芸術全般にわたる広範な知識を身につけると同時に、演奏することと論理的に思考することの統合を図るべく、修士論文または修士研究を執筆する。

【履修例】

必修（専門）	音楽芸術表現実技（声楽）①	4
	音楽芸術表現実技（声楽）②	4
	音楽研究法基礎	1
	西洋音楽史特殊講義	2
↓		
選択必修（専門）	課題研究Ⅰ（修士論文）	2
↓		
コース必修（専門）	歌曲特別演習①	4
	歌曲特別演習②	4
	声楽アンサンブル特別研究Ⅰ	2
↓		
コース選択必修（専門）	舞台発声研究（伊語）Ⅰ	1
	舞台発声研究（仏語）Ⅰ	1
	舞台発声研究（独語）Ⅰ	1
↓		
コース選択（専門）	オペラ特別演習①	4
	舞台表現テクニック研究Ⅰ	1
	声楽アンサンブル特別研究Ⅱ	2
↓		
選択（共通）	作品研究特殊講義Ⅰ	2
	西洋音楽史研究Ⅱ	2
↓↓↓		
修了要件	32単位以上	計 37

【基本的な注意事項】

- ・右表中※印は半期科目。
 - ・履修例を参考に履修登録をすること。
 - ・教職専修免許状取得希望者は、教職欄に○が付いている科目を24単位以上修得すること。
- ★「課題研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修するにあたっては1年次に「音楽研究法基礎」を修得済であること、また、留学生等は日本語能力検定試験N2レベル以上を取得していることを必須条件とする（履修登録期間より前にN2レベル以上を取得できていない場合は、「課題研究Ⅲ」を履修すること）。

【実技試験注意事項】

1年次 歌曲・オラトリオ中心のプログラム
15分以内（オペラアリアを含む）

2年次 歌曲・オラトリオ中心のプログラム
20分以内（オペラアリアを含む）

音楽芸術表現専攻（声楽研究）

2022年度入学

科目区分	教職	科目名	1年次			2年次			備考
			必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
専門科目	○	音楽芸術表現実技（声楽）①	4						
	○	音楽芸術表現実技（声楽）②				4			
	○	歌曲特別演習①	4						
	○	歌曲特別演習②				4			
		声楽アンサンブル特別研究Ⅰ	2						
		舞台発声研究（仏語）Ⅰ		1※					} 3科目の中から1科目選択必修
		舞台発声研究（独語）Ⅰ		1※					
		舞台発声研究（伊語）Ⅰ		1※					
	○	課題研究Ⅰ（修士論文）					2		} 3科目のうちどれか1科目 選択必修 ★履修条件あり（左ページ参照）
	○	課題研究Ⅱ（修士研究）					1※		
		課題研究Ⅲ（修士研究）					1※		
		オペラ特別演習①			4				
		舞台表現テクニック研究Ⅰ			1※				
		声楽アンサンブル特別研究Ⅱ						2	
		舞台発声研究（仏語）Ⅱ			1※				
		舞台発声研究（独語）Ⅱ			1※				
		舞台発声研究（伊語）Ⅱ			1※				
共通科目		音楽研究法基礎	1※						
	○	西洋音楽史特殊講義	2※						
		学外実習研究①			1				所定の審査を受け、履修指示された者のみ履修可。シラバスを参照のこと。
		学外実習研究②						1	
		音楽と学術研究Ⅰ			1※				
		音楽と学術研究Ⅱ			1※				
		ピリオド演奏研究Ⅰ			2※				
		ピリオド演奏研究Ⅱ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅰ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅱ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅲ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅳ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅰ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅱ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅲ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅳ			2※				
	○	音楽指導論特殊講義			2※				
		音楽芸術と社会特殊講義Ⅰ			2※				
		音楽芸術と社会特殊講義Ⅱ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅰ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅱ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅲ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅳ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅴ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅵ			2※				
		実践英語研究①			1※				
		実践英語研究②			1※				
		実践伊語研究①			1※				
		実践伊語研究②			1※				
	○	原典講読研究Ⅰ			2※				
	○	原典講読研究Ⅱ			2※				
		海外特別研修①			1				
		海外特別研修②						1	
		日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ			1※				} 指定された者のみ履修可 (6ページ参照)
		日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ			1※				
		日本語と日本社会研究Ⅰ			1※				
		日本語と日本社会研究Ⅱ			1※				
		実用日本語研究Ⅰ			1※				
		実用日本語研究Ⅱ			1※				
		日本語日本文化研究Ⅰ			1※				
		日本語日本文化研究Ⅱ			1※				
		日本語日本文化研究Ⅲ			1※				
		実践日本語研究Ⅰ			1※				
		実践日本語研究Ⅱ			1※				
		実践日本語研究Ⅲ			1※				
		実践日本語研究Ⅳ			1※				
		実践日本語研究Ⅴ			1※				

オペラ

声楽研究

ピアノ

弦・管・打楽器

電子オルガン

作曲

指揮

アート
マネジメント

音楽療法